

大出瑞月のような1発逆転滑り込みも!?

年間を通して
レベルの高い戦いが
演じられる

試合に出場できるボーダーラインはおおよそランキングで30位と言われているが、第2回目のランキングまでの試合はほぼ出場できそうだ。

6月の『ニチレイレディス』終了後に行われた第1回ランキングで、一発逆転でランキングを上げたのが大出瑞月だ。大出は昨年のメルセデス・ランキングが58位でQTへ行くことを余儀なくされたが、そのQTでは72位とふるわなかった。出場機会が限られる中で、臨んだ今季2試合目となった『ニチレイレディス』で8位タイに入り、メルセデスポイントは49・30でランキングでは35位となった。

ニチレイレディスでの大出は主催者推薦選考会を突破しての出場で、少ないチャンスをものにしたわけだが、このようにQT下位の選手がチャンスをつかむと言う意味で、ランキングが持つ意味は大きい。シーズン中にランキングが変わると聞くと、なんだか複雑にも感じるが、選手たちにとってこのシステムは概ね大歓迎だ。大出のようにチャンスをつかむこともあるが、基本的には年間を通して調子が良い選手が試合に出られるわけだから試合そのものが面白くなり、レベルの高いものになる。そうなれば観る側にとつてのメリットにも繋がると思うわけだ。

QT2位の 小倉彩愛は大失速

回(6/17時点)と前半戦の主役の一人だったと言っている。ランキング2位はQTで8位だった小林夢果で、予選落ちも多かったが、要所でトップ10に入りポイントを稼いだ。QT3位の藤田かれんもランキング6位で通過するなど、昨年のQTの結果を反映するような活躍が目立ったと言える。

一方で、昨年のQTの結果とは裏腹に、第1回ランキングでふるわなかった選手ももちろんいる。QTを2位で通過した小倉彩愛は『ニチレイレディス』までの15試合で、予選通過がわずか2試合。ランキングでは70位と低迷し、今後の出場は厳しい状況となっている。また、QT9位だった岸辺桃子もランキング57位と厳しい結果となった。

ただ、大出のように這い上がるチャンスは残っている。予選会や主催者推薦など、限られた出場機会でチャンスを生かすことができれば、シード権確保も見えてくる。その良い例が今回のランキングで30位に入っている政田夢乃だ。今シーズンは

ステップアップツアーが主戦上となっており、レギュラーツアー前半は2試合のみ。しかもその内の1試合は予選落ちで、唯一予選突破した『リゾートラストレディス』で8位タイに入っただけで中盤戦の出場を確定させた。

ただ、次回の第2回ランキングまでには、4日間の試合も多く、当然のことながらポイント配分も大きくなるため油断はできない。

また、次回のランキングまでには多くの試合に出場できそうなのがベテランの横峯さくらだ。今季は10試合連続予選落ちなど、苦しいシーズンを送っていたが『ニチレイレディス』で14位タイに入り、ランキングでは37位に入った。そのほかにも渡邊彩香が15位、金田久美子が16位と気を吐いた。



柏原明日架

▲ツアー2勝の柏原明日架は実績・実力ともにこのランクにいる選手ではないだけに、さらなる奮起が求められる。



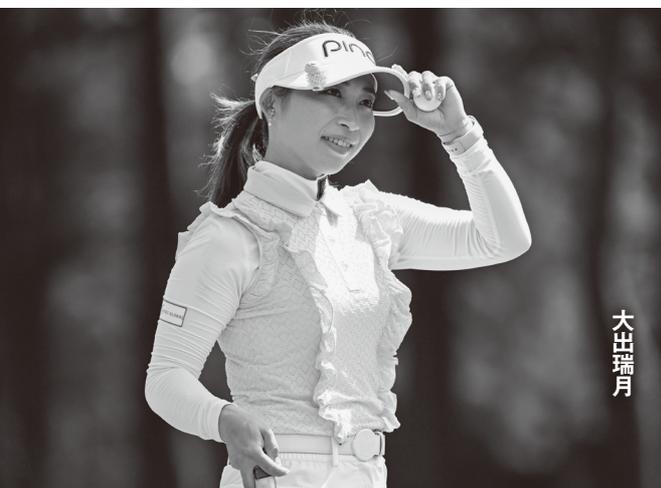
上野菜々子

▲ランキング22位の上野菜々子選手は2000年生まれのミレニアム世代。初優勝が待たれるプレーヤーだ。



宮澤美咲

▲2022年プロ入りの94期生。ステップアップツアーではすでに1勝をしている宮澤美咲。次はツアー初優勝だ。



大出瑞月

ニチレイレディスで8位タイになり、ランキング35位に急浮上した大出瑞月。このチャンスをものにするかが今後の試合にかかる。

実際に出場できるボーダーラインはおおよそランキングで30位と言われているが、第2回目のランキングまでの試合はほぼ出場できそうだ。